

関西テレビ

News ランナー「兵動大樹の今昔さんぽ」

『奈良・王寺町の歴史再発見』 鉄道の町として発展蒸気機関車の風景

放送：令和8年（2026）2月20日

今昔さんぽ 奈良・王寺町の歴史再発見
今回は、昭和43年の蒸気機関車の写真を手がかりに、現在の同じ場所を訪ねて町の歴史を再発見する企画。

王寺駅よりスタート。王寺は明治23年、奈良県で最初に鉄道が開通した地で、蒸気機関車の走る「機関車の町」として発展した。

D型は貨物用、C型は客車用の機関車で、当時の暮らしの記憶も紹介される。

また王寺は履物の問屋街としても栄え、鉄道が行商を支えた。

舟戸児童公園には昭和47年まで走ったD51が展示され、町の象徴となっている。

写真に写る山甚醤油の煙突や酒蔵を手がかりに本町周辺が撮影地と判明。

今では、煙突も酒蔵もないが山並みは昔も今も変わらず存在し下記写真を撮影できた。

